

令和3年度 第2回 北杜市行政改革推進委員会
《会議要旨》

- 1 日 時 令和3年8月19日（木）～8月26日（木）
- 2 場 所 書面開催
- 3 出席者 【会長】 小川昭二
【職務代理】 船木 良
【委員】 藤原真史 村田俊也 日野水丈士 矢崎憲恒
村上 隆 栗澤雅子 藤原真理 小宮山幸枝 （敬称略）
- 4 公開・非公開の別 書面開催
- 5 会議内容 議題①北杜市の行財政改革の主要な課題と取組の方向性について
- 6 審議内容（書面開催）

議題①北杜市の行財政改革の主要な課題と取組の方向性について

委員からの意見については、次のとおり。

- [意見] 5次にわたり行財政改革大綱を策定し取り組んできましたので、ともすると惰性に陥りがちです。そこで、今回の行政改革については、「心新たにここから始まる」という心構えで取り組んでください。また、行革の断行には痛みが伴いますが、職員が率先して範を示し、市民の理解を得るように努めてください。
- [意見] 今回、行財政改革プランは総合計画の中に位置づけられましたが、その趣旨についてもう少し具体的な説明があると分かりやすいと思います。また、行革の進捗状況の検証と、検証結果を総合計画に反映させる手法を事前に検討しておく必要があると思います。
- [意見] 他の自治体の先進事例はいろいろ示唆に富んでいますので大いに参考にしてください。ただ、丸写しにするのではなく、北杜市の状況を勘案し、付加価値をつけるように努めてください。
- [意見] (人件費割合が高い原因)「再任用職員」について、人件費割合が高い原因のように記載されていますが、再任用は法的に定められた雇用制度です。任意に雇用できる会計年度任用職員と同列にするのは誤解を受けるのではないのでしょうか。
- [意見] (歳入の確保)「歳入の確保」で上下水道料金を主要課題としています。上下水道料金の見直しは大きな課題ですが、収入の確保では、税収（自主財源）の確保策、地方交付税の算定基礎になる人口増加策（減少抑制）、受益者負担の適正化などが根幹的な課題ですので、大局観を念頭に各論を検討してください。
- [意見] 本市の上下水道事業は広大な地域を対象としている点から、将来にわたり安定した健全な経営を確立していくことが重要である。この点も踏まえ、公営企業会計に移行したことから、受益と負担の経営の原則に則り、適切な料金・使用料の在り方について検討を急ぐべきである。
- [意見] 様々な市民サービスを提供する自治体経営の面では、最小の経費で最大の効果を狙うことが大原則であり、そのためには、効率的で機動力のある組織や執行体制が構築されていることが肝要である。このことから、市職員が本来やらなければならない業務と他の主体でも可

能な業務とを区分し、職員・市役所のもつパフォーマンスを最大限発揮できる体制を作り上げることが必要であり、その意味からも、業務のアウトソーシングをしっかりと進めていくべきである。

- [意見] サービスの水準を維持しながら、公共施設の保有量の適正化に重点的かつ最優先に取り組んでもらいたい。
- [質問] 上下水道料金体系・水準の見直し・適正化によって目指されるのは、人口減少による使用料収入の減少額と更新・修繕の費用増加額を埋め合わせることができる状態なのでしょうか、それともそれらに加え基準外操出金を減少・解消することもできる状態なのでしょうか。
- [意見] 操出金の大幅な減少・解消までは期待できない場合、上下水道料金以外にも主要課題を設定する必要はありませんか。
- [意見] 今後の方向性として、業務のアウトソーシング、デジタル技術を活用した簡素化・効率化だけではなく、そもそもの大前提として、既存の業務や手続等で縮小・削減できるものがないかについても、徹底した全庁的な点検を期待します。
- [質問] 繰り延べされてきた「北杜市公共施設等総合管理計画公共施設個別計画」の策定状況は、どのようになっていますか。現在進められている「北杜市公共施設等総合管理計画」の改定後ということでしょうか。また、パブコメまで実施された「北杜市公共施設等総合管理計画公共施設個別計画（骨子案）概要版」で示されていた「最適配置の方向性」は、大きく変わる見通しなのでしょうか。
- [意見] 今後の方向性として「公共施設等総合管理計画」の早期見直しが挙げられていますが、そうしますと施設の削減が進んでいないのは、総合管理計画（最適配置に向けての基本方針）に問題があるから、ということになります。確かに、国の要請を踏まえれば適宜の見直しは重要ですが、総合計画策定・改定は「公共施設保有量の最適化」の目標ではなく入口段階の手段に過ぎないので、早急に「最適配置の方向性」を含む個別計画まで策定し、具体的行動に繋げるべきではないでしょうか。
- [意見] 今後の方向性として「本庁舎と総合支所の在り方について、審議・検討を進め」とありますが、今回こそ退路を断って審議・検討の次の段階まで進めるべきではないでしょうか。
- [意見] この柱は、あくまで対市民なのでしょうか。プラン策定方針、現状・課題や今後の方向性を見ると市民の市政への関心を高め開かれた市政を実現するための取組みのようですが、他団体の取組事例・取組状況の一部では「シティプロモーション」も挙げられており、市民以外（市外在住者）への情報発信も射程に入れているようにも見えます。ターゲットの明確化を期待します。
- [意見] 改革の5つの柱のほかに、「人材育成(行政運営力の向上)」といった項目が、別途必要ではないか。
- [意見] 主要課題の「支所の再編」という表現について「支所の再編・廃止」という踏み込んだ表現は困難か。
- [意見] 水道料金は合理的に改定すべきだが、民間企業に丸投げは危険。
- [意見] 業務のアウトソーシングが際限なく増えるのはどうか。
- [意見] 公共施設の集約・再編は是非必要
- [意見] 支所の集約・再編も視野に入れるべき。
- [意見] 【業務のアウトソーシング・デジタル化】従来の業務プロセスをDX化することは、時

代の要請であり、職員の考え方を考える必要があると考えます。まずは、県外他自治体の行政DX取り組み事例を参考に、手が付けやすいペーパーレス化などSDGsの観点から率先して取り組まれることを期待します。

- [意見]【公共施設の再編に向けた具体的取り組みについて】平成28年度に公共施設総合管理計画を策定していますが、なぜ施設の削減が進んでいないのか疑問です。住民サービスを維持する必要性は持ちつつ、「再編・廃止・民間への売却」等決断の必要性が高いものと考えます。特に民間企業への売却については、金融機関等連携することで、企業の北杜市拠点化を考えている民間先のマッチングを実現させることにもつながります。具体的な再編等の計画を立てる段階で、利用状況や保有面積規模等総合鉄器に判断した結果に妥当性（理由）を見出すことができれば住民の理解は得られるものと思料します。
- [意見] 改革プラン、策定趣旨、策定方針、改革の5つの柱、主要課題について概ね賛成です。
- [意見] 主要課題に「アウトソーシング」という表現があります。行政ではごく一般的な言葉なんじゃないかな。今はスマホでもすぐ調べられるので理解は容易ですが。内容的には、「民間委託」「外部委託」のようですが、これでは内容的に適切ではないのでしょうか。
- [意見] 5つの柱を立て、その柱の中で更に、具体的に焦点をしばって取り組む方法は良いと思います。
- [意見] 今後の人口減少、施設老朽化を考えると、水道料金水準見直しはやむおえない。合併16年経過の中で各町同じ料金体系が望ましいと思います。
- [意見] 学校給食調理・保育所に関しては直接子どもたちにひびく内容なので委託あるいは民営は疑問を持ちますが、図書館、公営住宅管理については、指定管理等、委託方向でも良いのではと思います。
- [意見] 公共施設保有量削減に賛成です。今後withコロナの生活様式に合わせた新産業起業の民間に譲渡したり、SDGsの社会形成のための課題解決企業、たとえばプラゴミリサイクル会社とかCO₂削減研究所とかといった方向で施設を民間に活用してもらおう。特に農林施設等というのはどうですか。

以上